

平成 25 年 3 月 22 日

各 位

会社名 株式会社 新生銀行
代表者名 代表取締役社長 当麻 茂樹
(コード番号 : 8303 東証第一部)

北海道道東地域メガソーラー建設向けプロジェクトファイナンスの組成について

当行は、太陽光発電事業などの開発・運営を行う JAG 国際エナジー株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長 木村泰宏)が北海道釧路・十勝周辺の道東地域に建設する発電出力合計が約 5.5 メガワットの大規模太陽光発電所(メガソーラー)に対するプロジェクトファイナンスを組成し、係る融資関連契約を平成 25 年 3 月 14 日に締結いたしました。このプロジェクトファイナンスは当行がアレンジし、建設にかかる費用のうち約 16 億円をローンにて調達するもので、当行のほかに三菱 UFJ リース株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長 白石正)が参加いたします。

この事業は、スポンサーである JAG 国際エナジーが釧路・十勝周辺に 5 か所の太陽光発電所を建設するもので、平成 24 年 9 月を皮切りに 5 か所の発電所建設を着工し、平成 25 年 3 月から順次商業運転を開始いたします。本格稼働後、発電する電力は、平成 24 年 7 月に施行された「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」に基づく電力受給契約により、20 年間にわたって全量を固定価格にて北海道電力株式会社に売電いたします。

JAG 国際エナジーの親会社である日本アジアグループ株式会社は、メガソーラー事業については欧州 4 カ国 24 か所で太陽光発電所を開発する他、国内では宮崎県児湯郡都農町の「宮崎ソーラーウェイ」の開発など、多くの開発実績を有しています。今回 JAG 国際エナジーがメガソーラーを建設する北海道釧路・十勝周辺は日照時間が比較的多く、道内では降雪量の少ない地域の一つであることなどから、当行では、本件事業の採算性は十分に見込まれると考えております。また、これまでメガソーラーへのファイナンスはコーポレートローンが中心でしたが、本件は返済原資をプロジェクトからのキャッシュフローに限定したプロジェクトファイナンスによる国内メガソーラープロジェクトへのファイナンスであり、先駆的な資金供与スキームとなるものと考えております。

当行では、中期経営計画における法人業務戦略の一環として、平成 24 年 3 月に VBI 推進部を設置し、ビジネスインキュベーション業務(新事業領域の開拓および地域振興)を推進しています。また、国内外のプロジェクトファイナンス案件に積極的に取り組み、国内の電力やインフラストラクチャー関連の案件に対するファイナンスアレンジ業務を推進するため、平成 24 年 6 月にプロジェクトファイナンス室を設置し、体制を強化いたしました。太陽光発電などのクリーンエネルギー業界は新事業領域として推進する戦略分野でもあり、震災に起因した電力需要の逼迫を緩和する観点からも、当行では、今後とも同業界に対するプロジェクトファイナンスに積極的に取り組んでまいります。

【プロジェクトの概要】

事業名称	:	北海道メガソーラー運営プロジェクト
事業用地	:	北海道釧路市周辺
発電所数	:	5 か所
発電出力	:	約 5.5 メガワット
事業期間	:	20 年
事業会社	:	JAG 北海道ソーラー開発合同会社
スポンサー	:	JAG 国際エナジー株式会社
商業運転開始	:	平成 25 年 3 月

【JAG 国際エナジーの概要】

名称	:	JAG 国際エナジー株式会社
代表者	:	代表取締役社長 木村 泰宏
本社所在地	:	東京都千代田区六番町 2 番地
事業内容	:	再生可能エネルギー発電施設の開発・運営およびコンサルティングなど
設立	:	平成 24 年 3 月 7 日
資本金	:	8500 万円
株主	:	日本アジアグループ株式会社 100%

【融資契約の概要】

貸付人	:	株式会社新生銀行(アレンジャー)、三菱 UFJ リース株式会社
融資金額	:	ローン総額 約 16 億円
契約締結日	:	平成 25 年 3 月 14 日

以 上